

ホームと家族を結ぶ

おとすい 155号

社会福祉法人 任運社 特別養護老人ホーム 任運荘

〒879-6601 大分県豊後大野市緒方町馬場 796 番地 1

事務室：0974(42)2338 寮母室：0974(42)3322

任運社総合相談支援センター 0974(42)4211

任運荘ホームヘルパーステーション 0974(42)3351

※ 任運社内では介護職を『寮母』と呼びます

F A X：0974(42)4187

E-mail：info@ninun.or.jp

<http://ninun.or.jp>

編集・発行

任運荘広報委員会

第44回 任運社五月祭

令和元年5月12日(日)に『第44回任運社五月祭』が開催されました。当日は多くの地域の

方々やご家族の皆さんが来荘されました。ご家族は26組が来られ、一緒にアトラクションや作品を楽しみました。10時からの式典は、廣本理事長の挨拶で始まりました。「ようこそ！第44回任運社創立記念日五月祭へ。こうして今年も開催する事ができましたのも、ひとえに利用者の皆様とご家族の皆様、地域の皆様の支えがあったからです。そして今日これより8名の任運社職員の表彰が行われます。さきほど、色々な方に44年支えられたと申し上げましたが、分けても任運社職員百十数名の構成になっています。けれども、その職員たちの努力もございいます。利用者の皆さんが日々、任運騰々と生活して頂けるように私たちは『恕(じよ)』の心を常に心に秘めて、今までも、そしてこれからもお世話にあたっていくことをお誓い申し上げます。』『恕(じよ)』 〓 相手を思いやる

永年勤続表彰では10年表彰6名、40年表彰2名、8名の職員が表彰されました。

利用者代表挨拶では、今年100歳を迎えられる衛藤文子さんより「大変な時こそ笑い飛ばして、身体を大事にしてこれからも頑張つて下さい」と激励の挨拶を頂きました。



表彰者代表 温 五江さん



利用者代表 衛藤 文子さん



廣本理事長 主催者挨拶

来賓祝辞では板井逸郎豊後大野市高齢者福祉課長より「市民の皆様のご健康、より仲間づくり、生きがいづくりをはじめ、福祉の充実を図り市民の皆様が安心して生活できる社会づくりを推進してまいります」とご挨拶いただき、衛藤竜哉市議会副議長、嶺英治市議会議員より「地域に根付いた活動、福祉は人が人を支えることになんら変わりありません。福祉に携わる皆様の希望となつて頑張つて下さい」と祝辞をいただきました。最後に代表で永年勤続40年表彰者の騰々舎相談支援専門員の温五江さんが「失敗をいくつも重ね、反省することがやまほどあります。しかし苦しい事、辛い事ばかりでなく嬉しい事、楽しい事もたくさんありました。私はこの職場に育てられ、ここまでできました。これまで縁があり出逢った全ての皆様にお力を頂いた事に感謝します」と謝辞を述べました。

任運社初盆供養・盆踊り

●開催日時:8月16日(金) 18時30分~20時 (予定)

●会場:任運社正面玄関前 ※天候等により会場の変更があります

令和元年度 社会福祉法人 任運社 敬老会のご案内

●開催日時:9月16日(月) 14時からのご予定です

●会場:テイサービスセンターなごみ塾 ホール

94歳の同級会

久しぶりの再会に話が弾みました



去る6月15日、94歳の同級会が開催されました。場所は町内馬場のオレンジカフ「煙仲間」。任運荘の入居者でもある志賀フキエさんと後藤二三さん、それに緒方町内にお住まいの加藤さん、高倉さん、三代さんの5人です。後藤さんは娘さんと一緒にご利用されました。皆さんは大正13年から14年にかけてご出生された方々です。明治22年に町村制実施により、南緒方村ができ、明治25年に設立された南緒方尋常小学校に通い、昭和11年1月からは合併した緒方小学校で学ばれました。当時は通学範囲7地区で43人の同級生がおられたそうで、それぞれの安否や近況について昼食をはさみながら懐かしく語られています。志賀フキエさんです。「本当懐かしかったです、楽しかったです。当時の事がはつきりとよみがえり、話が弾みました。お互いに元気でした、再会しようと思いました。」

オレンジカフ「煙仲間」は任運社が運営している総合相談支援センターの中であり、高齢者の皆さんをはじめ、どなたでもゆつくりと過ごせる居場所として機能したいと考えています。

今でも、同級会やサロン、グループのご利用をいただいております。最高齢者は98歳ですが、利用者の平均年齢が94歳というのは初めてです。これからも認知症をはじめ、いろんな悩みの相談場所として、また相互理解と共生の拠点としての役割を果たしてまいります。どうぞお気軽にご利用ください。連絡先は任運荘またはオレンジカフ「煙仲間」(TEL 0974-424242)までお問合せください。

担当 地域福祉推進室長 橋本 祐輔

「喫茶」お好み焼き

5月23日(木)の喫茶で、「山芋たっぷりふわふわお好み焼き」を利用者に食べていただきました。口の端にソースをつけながら、「おいしい」と、次々に口に運んでいきます。ホールには食欲をそそる香りが漂い、普段はベッド上で過ごす事の多い利用者もその香りに刺激されたのか、口を大きく開いて次のひと口を待ち構えています。担当 栄養士 上田 桃子



渡邊八重さん

「どうぞ〜」



『お詫びと訂正』

本誌154号の記事「五月祭のご案内」において、誤りがございました。

(誤) 豊友会

正しくは『豊勇會』です。

右記のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

★広報委員のひとり言

車がきました。乗り心地も良くて子ども達も喜んでくれました。

ただ、燃費が思った以上に悪かった…。

つぶやき

後藤 二三さん

「化粧水か乳液を買いたいのですが2つは買えないので、どちらを買ったら良いですか？」と女性職員が尋ねると、

「乳液」と答えられる。

「え〜！化粧水じゃないんですか？」

と再度聞き直すと、「はいー乳液ー」勉強になりました。さすがです。

渡邊 八重さん

朝食をお持ちすると、エプロン姿の寮母を見て、「**駅長さんみたい**」と言われるので、寮母が敬礼をしますと、

「誰にしよるの？」と聞いてきたので、

「渡邊さんにですよ」と伝えると、

渡邊さんも敬礼を返してくれました。

佐藤 秀子さん

利用者の平井綾子さんが、

「この人は頭も良くて白山から地下足袋で歩いて学校行って、革靴に履き替えてたんで。すごい人で。」と佐藤さんの事を寮母に教えてくれた。

寮母が佐藤さんに「地下足袋で！白山からなら2、3時間は歩いたでしょう？」と佐藤さんに尋ねると、

「それくらいは歩いてたわなあ…」と教えてくれる。

佐藤 ナミ子さん

寮母が七夕の短冊に『背が伸びますように』と書いてある事を聞いて、

「もう無理じゃわ」と一言。その通りです！

柿原 幸夫さん

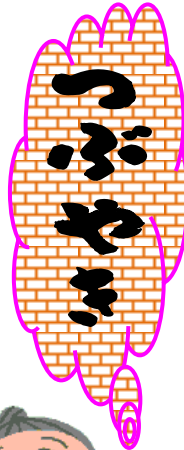
「おはようございます」と挨拶すると、

「なんえー？」と言われたので、

「お熱を計ります」と伝えると、

「そりゃあ、いいと思う」と、

快く凶らせてくれました。



嶺 八千代さん

ご家族の面会中、和やかに皆さんでお茶を飲んでいたり、職員が「あら、いいですねえ」と声をかけると、コップを持ち上げ、

「いっぱい飲みしよるので」と、満面の笑み。

後藤 ユキエさん

肩のマッサージを行っている、

「もういい、手がだいで」と職員を気づかせてくれました。

後藤 千代子さん

採血を行った後に入浴へ。その時のお風呂場での一言。

「私は今日、注射を打ったので入れませんー」

職員「その注射は問題ありませんよ。血を抜いただけですよ」と伝える。

佐藤 ナミ子さんと高橋 アイ子さん

昼食後にホールのテーブルを男性職員が拭いていた。

それを見た佐藤さんが横の高橋さんに、

「ちょっと、あれを見て。日本男子が机とか拭きよる。

やけん、日本は戦争に負けるんや」と言われる。

高橋さんは苦笑いでした。

河原ヨシ子さん No.1

朝、寮母が「河原さん、今日は曇ってますよ」と声をかけると、

「医者が喜ぶ」とポツリ。

河原ヨシ子さん No.2

朝、看護師が「おはようございます」と挨拶すると、

「あんた年金もらいよるの？」と言う。

看護師は、「私はまだもう少し年齢ではないんです。が、そう見えるんでしょうか」と、ちょっとショックを受けていた。

三代 キヨコさん

左手に内出血ができていたので、寮母がベッドの横に保護のためクッションをしていた。

「手が赤くならないようにしときますね」と伝えると、

「すんません。気を使うちもろうち」と言われる。

式典の次は、皆さんが楽しみにしているアトラクションです。今回のアトラクションは

①「豊勇會」和太鼓

②豊の国 エイサー会 「響舞(ゆらぶ)」の二つです。

「豊勇會」はらいでん祭り発足を期に地域社会への貢献を柱に豊肥環境センターの有志で結成されたチームです。勇壮な和太鼓の演奏が始まると、皆さん迫力ある音にびつくり！感動の嵐で涙ぐむ方、耳を押さえる方、といました。後半、若者が上着をぱつと脱ぎ捨て、逞しい背中、飛び散る汗！近頃見たことない演出に利用者は、「あらま、あらま」と気分高揚気味でした。

つづいて、エイサー会「響舞(ゆらぶ)」の皆さんの演舞です。エイサーとは、五穀豊穰、安寧長寿などを願う沖縄の伝統芸能です。鮮やかな色の衣装に目をみはり、一緒に踊りたくなるような楽しい演舞についつい、つられて手を動かしている方もいました。中には小さな踊子さんもいて「かわいい、かわいい」と人気者でした。エイサーの皆さんは、任運荘のホールの中や、見に行けない方がいるお部屋も回ってくれました。ご家族との記念撮影に盛り上がり、たくさん笑顔を見ることができました。



昼食時ホールで演舞してくれました



感動のあまり涙ぐむ小野春子さん



豊勇會の勇ましい和太鼓演奏



岡田みち子さんはかわいい演者と撮影



エイサー会「響舞」の皆さんです



古澤マチコさんも音頭をとってます



佐藤シズコさんと娘さん



河原ヨシ子さんと娘さん



任運荘利用者作品です



眞部タマエさんは長男のお嫁さんとの一枚

正午になると、中庭の会場では模擬店がオープンしました。今年も20種類近くのメニューがそろいました。楽しみに来ていただいた方々で各テントはまさに千客万来の大盛り上がりでした。任運荘では、綿菓子やたこ焼き、かき氷が人気メニューです。皆さん、ご家族や友人に逢われ、賑やかな昼食をとられました。

また、任運荘談話室では、利用者作成のハーブの香りに包まれた「ハーバリウム」や海とひまわりの貼り絵や折り紙などに来荘者は、立ち止まられていました。おかげさまで、今年の五月祭も無事に終了することが出来ました。会場設営や模擬店の販売等にご加勢をいただいたボランティアの方々、そして、ご多忙にもかかわらずご来場いただきました近隣の皆様、ご家族の皆様には厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

担当 森 園美

ふるさと訪問 高山つよしさん

5月21日(火)に高山つよしさんを馬場のご自宅へお連れしました。

自宅につき玄関に入ると先に帰省された息子さんが「おかえり」と出迎えてくれました。入るとすぐに、ご主人が手彫りされた「神楽面」が目に入りました。息子さんが「器用だった父親の作品は奥にもたくさんあります」と教えてくれました。さっそくお座敷にあり、愛用の回転座椅子に座り、お仏壇にお参りをしました。息子さんがろうそくに火をつけ手を合わせると、高山さんも手を合わせ「おとうさん、ご無沙汰していません」と静かに目を閉じておられました。そして壁に掛かった子どもさんの乳児健康優良見表彰に気がつかれ、3人の子どもの表彰状を見上げ、遠い昔に元気に走り回る子ども達の姿を思い出したようでした。

担当 森 園美



ご主人の前で長男の久信さんと一緒に記念撮影をしました

ふるさと訪問 衛藤千代子さん

5月25日(土)に、衛藤千代子さんが朝地町市万田のご自宅へふるさと訪問を行いました。ご自宅では夫の高明さんやご長男の敏正さんなどのご家族と親戚の皆さんが集まっており、衛藤さんは家に着くと満面の笑顔で「ただいま」と言われました。

長男の敏正さんが手作りされたスロープで家へ上がり仏壇にお参りされました。その後、皆さんでテーブルを囲み、昼食をとりながら談笑されました。また、衛藤さんは1ヶ月前の4月25日が誕生日で、この日は誕生日ケーキが用意されていました。衛藤さんはとてもビックリしていましたが、ロウソクの火を吹き消して笑顔が見られました。楽しい時間は過ぎるのが早く、任運荘へ帰る時間がきました。家を出発する前に、家族・親戚の皆さんと一緒に記念撮影を行いました。帰りの車の中では「みんなが良くしてくれるからありがたい。たくさんのごちそうもあつて楽しかった」と喜ばれてました。

担当 羽田野 弘美



誕生日ケーキがありました



家族・親戚との記念撮影です

レクリエーション(もぐらたたき)

6月4日(火)の午後、利用者の皆さんはおやつを食べた後に、『もぐらたたき』や『カラオケ』をして楽しみました。

穴から頭を出したもぐらを、力いっぱい叩く方、優しく叩く方、目で追いつながら叩く方と、それぞれの個性のある叩き方です。周りで見られている方は「ほら、右から出ちよるぞ」ともぐらの位置を教えてくださいました。

カラオケでは、「私は歌えんで」と恥ずかしがりながらも、マイクを持つと熱唱される方もおられました。

担当 深田 康子



108歳のハンマー使い 佐藤亀代さん



嶺八千代さん もぐらを見て!



芦刈トヨさん 良い笑顔です

誕生者紹介

四月生

田北 カスエさん



昔は料理上手で魚寿司をたくさん作って皆さんにふるまっていたそうです。
「今はのんびり！任運荘が私におうちよる」と話してくれます。

担当寮母 小平 菜穂子

衛藤 千代子さん



入居からもうすぐ一年が経とうとしています。施設での生活にもずいぶん慣れてきました。夜勤で帰る時には「気をつけて帰りなさいよ」と優しく声をかけてくれます。

担当寮母 渡辺 加代子

深田 アイ子さん



昔は『まんじゅう』づくりが得意で、地元の人人会でたくさんつくり、振る舞っていました。

担当寮母 田村 恵美

五月生

小野 春子さん



曾孫さんの話をする時、目に涙をためて、嬉しそうに笑顔を見せてくれます。

担当寮母 高山 悦子

高山 ヒサコさん



同じテーブルの方のお世話や洗顔タオル、エプロンなどを几帳面にたたんでくれます。「いつでも持ってきて。たたむよ」と優しく職員に声をかけてくれます。

担当寮母 羽田野 弘美

高橋 アイ子さん



今年の5月に入居されたばかりです。
麺類や甘いものが大好きです。
竹田のお話をする時嬉しそうにされます。

担当寮母 伊東 菜保美

六月生

衛藤 キヨさん



いつも明るく、歌が大好きです。
ご家族の話題が一番笑顔になります。

担当寮母 田村 恵美

五嶋 ナルコさん



6月の誕生者は一人で、皆さんの視線をひとり占めしました。
プレゼントを頂き、お祝いの言葉や歌で楽しい時間を過ごしました。

担当寮母 高倉 智恵



七夕行事 ～短冊に願う～

令和元年7月7日(日)、七夕の日に、お茶やおやつを食べながら願い事についてお話をしました。毎年ホールには竹を立て、皆さんのお願い事を書いた短冊を飾ります。100歳を迎えられた田北ナツミさんは「もう願う事はありません。ほとんど叶った」と笑顔で言われていました。また、後藤ツヨ子さんは「職員の皆さんが健康でありますように」と、私たちについての願いをしてくれました。

その他の願い事として「元気でいられますように」「健康でいられますように」「病気が治りますように」「魚寿司を沢山食べたい」「バナナを沢山食べたい」と、たくさんの方の短冊がありました。お話をしていると、ふと昔の思い出を語って下さり、皆さんでゆつくりとした時間を過ごしました。

みなさんの願いが叶うように、私たち寮母はお世話をしていきたいと思えます。

担当 羽田野 瞳



甲斐喜代子さん



柴田民子さん



羽田野キミ子さん 綺麗なお星さまですね

フルート演奏会 真心コンサート

7月9日(火)午前10時30分より任運荘ホールにて真心コンサートが開催されました。このコンサートは、入居されている佐藤秀子さんの娘婿の松本和年さんと主人の寛さんが、フルートとアコーディオンの演奏会を都合の良い日にボランティアで行きたいのですが、と申し出て下さっていました。「今日は、あいにくの雨ですが、私たちの演奏で晴れやかな気持ちになつて下さい」と挨拶をされ、演奏してくださったのは次の10曲です。

- 一、 演歌をあなたに 「雪国」「つぐない」「北の宿から」「函館の人」
- 二、 童謡をあなたに 「雨降りお月さん」他 アコーディオン演奏
- 三、 抒情歌謡・・・皆さん一緒に唄いましょう 「北上夜曲」「荒城の月」「白い花の咲く頃」
- 四、 クロージング・・・アンコール(浜辺の歌)

一つ一つの曲紹介があり、「皆さん、初恋はいつでしたか?思い出して下さい」とささやくように言われ、ドキッとしたのは利用者よりも職員が多かったのではないかと思えました。またフルートの音色もさることながら歌声も素敵で、「カセットテープの音かと思つたら、本物だわ」と言う方もおりました。アコーディオンの音も懐かしく、「子どもの頃に戻つた気がしたわ」「聞き惚れるわ」と平井綾子さん。「久しぶりにこんな良い事があつた」と村上昌子さん。

45分間の演奏は、あつという間でした。皆さんの知っている曲ばかりで懐かしく昔を思い出したのではないのでしょうか。職員から「また、ぜひ来てください」とお礼を伝え、廣本理事長からは「どんな名人より、縁のある方の演奏は心にしみみます」と謝辞を述べ、幕を閉じました。

担当 森 園美



松本和年さんの優しいフルートの音色に皆さん聴き入りました

佐藤寛さん



アコーディオンを演奏された



佐藤秀子さん ご主人と娘婿さんの演奏に聴き入ってました

外出ドライブ

『大辻公園 紫陽花見物』

6月11日と13日に三重町の大辻公園へ紫陽花見物に出かけました。参加された利用者は、佐藤シズコさん・和田静子さん・佐藤ナミ子さん・村上昌子さん・後藤イサヲさん・引田ケサさん・衛藤八枝喜さん・後藤千代子さんの8名です。

今年は梅雨入りが遅くて雨が少なかった影響か、昨年の同時期と比べて花は小さく、まだこれからという感じでした。利用者は花に向かつて「もつと大きくならな」や「きれいやな」と声をかけていました。

紫陽花見物の後は、『道の駅きよかわ』でピーチソフトを食べました。「お〜冷たい」や「甘いな〜美味しいわ」など皆さん言われてました。

外出ドライブに行くご利用者は笑顔の花を咲かせてくれます。寮母はその花を見るのが大好きです。

担当 宮崎 正規



出発前の衛藤八枝喜さん・後藤千代子さん 「お〜冷たい！」佐藤シズコさん 佐藤ナミ子さん美味しいかな



紫陽花をバックにピースサインする和田静子さん

「美味しいわ」と村上昌子さん 引田ケサさん、良い笑顔です お花が大好きな後藤イサヲさん

買い物ドライブ

6月15日(土)の午後から竹田市の

日イロセへ、三代智子さん・平井綾子さん・高橋アイ子さんの3名が買い物外出に行きました。店内にはペットコーナーがあり、犬や猫を見ては「かわいいな」と言われてました。平井さんは珍しい動物を見て「へえ〜」と、とても興味を持ってました。衣類コーナーでは高橋さんが帽子をかぶると、三代さんが「あんだ、よう似おうちよるわ」と言われ、平井さんも頷いてました。それを聞いた高橋さんはとてもうれしそでした。食品コーナーでは、三代さんと平井さんは飴を真剣に選んで購入し、高橋さんは念願のみかんを購入しました。

買い物を終えて、皆さんでプリンやヨーグルトを食べました。三代さんは「もう帰るんな。また行くうえな」と、平井さんと高橋さんからも「また行きたいわ」との声が聞かれました。

とても楽しい時間が過ごせたようで、あいにくの雨でしたが、皆さん久しぶりの買い物に笑顔晴ればれました。

担当 渡辺 加代子



「父ちゃんにどうじゃるか」と三代智子さん



「煎餅も美味しそうだし飴も欲しいな」と平井綾子さん



「これが食べたかったんよ」とみかんを買う高橋アイ子さん